

申し入れ書

渡部琢也基地司令 様
自衛隊員の皆様

1月7日に日米安全保障協議委員会(2+2)での協議がおこなわれました。「日本の南西諸島を含めた地域における自衛隊の態勢強化の取組を含め、日米の施設の共同使用を増加させる」との表現があります。御存知のように小牧基地にたいしては地元市町からたびたび「基地機能強化反対」とともに「米軍機の利用反対」の声が出されてきました(2006・1・17の4項目要請以来)。2+2での協議は南西諸島に関わるにとどまらず、日米の施設としており、小牧基地もその対象となりうる、と考えられます。基地司令は地元住民の要望として米軍機の利用をさせない、を胸に刻んでいただきたいと思います。

またこの2+2協議会では米軍と自衛隊の「共同作戦」にも言及しています。有事には米海兵隊はEABO(遠征前進基地作戦)という作戦を南西諸島で展開するとされています。これは小部隊を島しょに展開し、C130やオスプレイでロケット砲やミサイルを運び対空、対艦の攻撃を行うという作戦です。すでに海兵隊と陸自の連携した訓練がなされています。ここでのC130は米軍機とはかぎりません。米軍と自衛隊は共同作戦や施設の共同使用で限りなく一体化していきます。種子島西方12キロにある馬毛島にはFCLP・空母艦載機訓練施設とともに自衛隊の訓練施設が予定されており、C130の不整地着陸訓練や物量投下訓練がなされることになっています。これをみると、自衛隊のC130は事実上、有事の作戦にくみこまれており、そのための訓練を馬毛島で行うということではないかと思います。

基地司令、このままでは小牧基地や隊員のみなさんは米軍の作戦のなかに組み込まれてしまいます。あえて言えば、いいように使われてしまいます。

ウクライナへのロシアの侵攻がありました。国連憲章を見るまでもなく明らかな国際法違反でロシア軍は撤退すべきと思いますが、外交交渉がつくされなかったことも現実です。

中国包囲網の前線で米軍に作戦に組み込まれるのは非常に危険です。外交交渉の道をさぐるべきです。

小牧基地の米軍利用に反対してください。

米軍との南西諸島での共同作戦に反対してください。

2022年2月26日

不戦へのネットワーク

名古屋市中村区那古野1の44の17 嶋田ビル2F

TEL 050-3593-5310